

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
西鉄自動車整備 専門学校		昭和52年12月1日	椎葉 小夜子		〒816-0922 福岡県大野城市山田3-12-1 (電話) 092-581-7435		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 西鉄学園		昭和37年2月27日	中尾 和毅		〒816-0922 福岡県大野城市山田3-12-1 (電話) 092-586-2480		
目的	即戦力としての知識・技術を習得、コミュニケーション力や社会人マナーに優れ、業界で働く覚悟を持った人材の育成をする。併せて、整備士養成機関としての使命を果たすべく、二級自動車整備士資格の全員取得を教育目的とする。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
工業	工業専門課程		自動車整備課		平成7年文部科学省告示第7号	-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2	昼間		2334	958	0	1376	0
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
110		98		7	0	7	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 中間試験と期末試験。評価方法は5段階評価。5:85点以上 4:70点以上 3:45点以上 2:30点以上 1:30点未満		
長期休み	■春季: 3月下旬から4月上旬に10日間程度 ■夏季: 7月下旬から8月下旬に30日間程度 ■冬季: 12月下旬から1月上旬に14日間程度		卒業・進級条件		所定の成績取得科目を取得し、出席すべき日数の出席率が90%以上であること。学生納付金を納めていること。卒業については、更に、国土交通省が定める規定の時間を満たしていること。		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 該当学生から直接ヒヤリングを行うとともに、保護者と連絡を取り早期対応に努めている。		課外活動		■課外活動の種類 無 ■サークル活動: 無		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 自動車整備業界 メーカー系自動車販売会社 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成 27年度卒業者に関する 平成28年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等		二級ガソリン自動車整備士 二級ジーゼル自動車整備士 ガス溶接技能講習 アーク溶接技能講習 低圧電気取扱業務特別教育 中古自動車査定士 タイヤ空気充てんの業務に係る特別教育		
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成27年4月1日時点において 在学者 95名 平成28年3月31日時点において 在学者 92名		■中退率 3% (平成27年4月1日入学者を含む) (平成28年3月31日卒業者をを含む)		■中途退学の主な理由 経済的理由、学習意欲の衰退、進路変更等 ■中退防止のための取組 家庭の経済的環境の変化に対しては、奨学金、教育ローン等の紹介や学費分納制度などにより対応している。学習意欲の衰退については、学生の諸状況の早期把握、学生との面談、保護者を含めた面談などにより対応している。		
ホームページ	http://www.nishitetsu-seibi.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育の質の保証及び改善をするため、教育活動の状況に関する評価を行い、業界の要請を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

- ・学校評価実施規程第11条
- ・校務運営規程第5章 教育課程編成委員会第9条
- ・校務運営規程第7章 校務分掌第12条二項

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
奥 和昭	トヨタカローラ福岡株式会社 総務部 人事グループ グループ長	平成28年6月1日～ 平成30年3月31日	③
岸原 武志	一般社団法人福岡県自動車整備振興会 指導部長	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	①
椎葉 小夜子	西鉄自動車整備専門学校 理事 校長	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	
矢ヶ部 友則	西鉄自動車整備専門学校 教頭	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	
緒方 隆	西鉄自動車整備専門学校 就職課 教務課 課長	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	
目原 光輝	西鉄自動車整備専門学校 教務課 係長	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	
阿納 弘通	西鉄自動車整備専門学校 総務・学生課 係長	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年度内に2回以上実施する。(教育課程編成委員会規程第4条4)

(開催日時)

第1回 平成28年7月22日 14:00～14:50

第2回 平成28年9月8日 14:00～14:50

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・新規に導入した危険予知の授業は、学生にとって効果的であったか。どのような反応を示したか。
→事例を挙げながら授業を実施。現場経験がないとわからない事例も具体的に示すことにより、安全の重要性を認識することができた。その成果として、実習中の怪我が減少するという効果が現れている。今後も継続して取り組む。
- ・安全面から、揮発性が高いケミカル類は火傷や火災の原因になるので、実習での使用は中止したほうが良いのではないか。
→安全性を考慮し、揮発性・引火性が高いケミカル類の使用は取りやめる。
- ・自動車の新型車、新技術、業界の現状等、タイムリーな内容を授業に取り入れてはどうか。
→自動車業界の最新情報を学生に伝授することは重要である。業界情勢を理解し、幅広く知識を得るためにも、更に授業に盛り込むことを図っていく。
- ・クラブ部活動や同好会などを発足させたことは、学生支援の上で大変良いことである。自動車に関連あるエコランやソーラーカーなどの大会には参加してはどうか。
→予算や設備の面で対応が難しい状況にあるが、「もの創り」の観点から参加することを検討していく。
- ・資格が多い学生は、採用試験で積極性があると判断している。学生に多くの資格にチャレンジさせてはどうか。
→自動車整備に関連する資格はもちろんのこと、学生が取得できる有利な資格を増やして斡旋していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校教育に理解があり、後継者育成の一環として技術等を学ぶ学生に実務の経験を積極的に提供し、学習成果の評価を行う体制を取ることが可能な企業を選定する。今後は、学校が教育している技術等の習得が可能でかつ後継者の育成に力をそそぐ企業へ拡大していく。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

実施前に打ち合わせを行い実習内容詳細について決定する。実習期間中、教務課が各企業を訪問し、学生の学習状況について直接確認するとともに、実習担当者との情報交換を行う。
実習終了時には、実習担当者による学生の学修成果の評価をふまえ、担任が成績評価を行う。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
企業実習Ⅰ	企業採用担当者の方から社会人としてのマナー、心構え等を説明していただき、働くことの意味、仕事に対する理解を深め、就職に対する意識を早期に持たせる。夏季に行う企業実習に対する注意点などを事前に説明する。	トヨタカローラ福岡株式会社
企業実習Ⅱ	授業で学習した知識と実技の一体化を図ることを目的とする。また、現場を経験することにより社会人としての厳しさを意識させるとともに基本的な業界の知識、顧客サービスや整備技術の習得を目的とする。	トヨタカローラ福岡株式会社
企業実習Ⅲ	夏季の企業体験で学んだことを踏まえ、就職活動についてのより実践的な講義、ロールプレイングを行い、学生の仕事に対する意識、覚悟を高める。また、夏季実習で企業より評価された項目に対し改善点があれば改善する。	トヨタカローラ福岡株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

職務の遂行に必要な知識及び技術等を習得させ、その遂行に必要な教職員の能力および資質等の向上を図る。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

回数	実施日	主催及び研修対象	研修内容
第1回	7月28日(火) ～7月29日(水)	日産自動車㈱ ○研修対象:教員	「日産技術セミナー」 日産のEV技術と修理技術の習得。
第2回	11月5日(木) ～11月6日(金)	日本経営教育センター ○研修対象:教員	「アーク溶接特別教育」 アーク溶接作業に伴う災害・法令を学び、アーク溶接の作業方法、安全作業を習得する。
第3回	11月6日(金)	日本経営教育センター ○研修対象:教員	「粉じん特別教育」 粉じんを伴う作業における知識・法令を学び、作業時における身体の保護方法を習得する。
第4回	2月5日(金)	自動車整備振興会連合会 ○研修対象:教員	「自動車検査員法令研修会」 整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策を授業に役立てる。
第5回	2月19日(金)	自動車整備振興会連合会 ○研修対象:教員	「自動車検査員法令研修会」 整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策を授業に役立てる。
第6回	2月22日(月)	自動車整備振興会連合会 ○研修対象:教員	「自動車検査員法令研修会」 整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策を授業に役立てる。
第7回	2月24日(水)	自動車整備振興会連合会 ○研修対象:教員	「自動車検査員法令研修会」 整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策を授業に役立てる。

②指導力の修得・向上のための研修等

回数	実施日	主催及び研修対象	研修内容
第1回	8月4日(火) ～8月6日(木)	職業教育・キャリア財団 ○研修対象:教員	「新任教員研修」 専修学校の制度、職業教育の意味を理解し、学生・教員の実践心理を学び、教育指導に役立てる。
第2回	2月23日(火) ～2月24日(水)	福岡県専修学校各種学校協会 ○研修対象:教員	「教職員研修 教授法」 学生との間の信頼関係を築けるコミュニケーションの構築と受講者を中心とした授業方法を習得し、教職員としてのスキルを上げる。
第3回	2月25日(木)	福岡県専修学校各種学校協会 ○研修対象:教職員	「教職員研修 プレゼンテーション研修」 話の構成の基本を学び、感じのよい印象を与えるプレゼンテーション力を習得し、教職員としてのスキルを上げる。

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

回数	実施日	主催及び研修対象	研修内容
第1回	8月4日(木)	(株)バンザイ ○研修対象:教員	「これからの車体整備の問題点」 安全のため進化する車造りを理解し、それに対応する車体整備技術の知識を習得する。
第2回	8月4日(木) ～8月5日(金)	マツダ(株) ○研修対象:教員	「SKYACTIVE技術セミナー」 Gコントロールシステムの技術の理解と習得。
第3回	8月5日(金)	いすゞ自動車(株) ○研修対象:教員	「エアブレーキの仕組み」 エアブレーキの最新の技術、仕組みを理解し授業に役立てる。
第4回	8月19日(金)	福岡トヨペット(株) ○研修対象:教員	「新型プリウス技術研修会」 新型プリウスの最新技術、トヨタの予防安全技術の理解と習得。

②指導力の修得・向上のための研修等

回数	実施日	主催及び研修対象	研修内容
第1回	7月25日(月) ～7月28日(木)	全国自動車大学校・整備専門学校協会 ○研修対象:教員	「第20回(平成28年度)JAMCA教職員夏季研修会」 学生の心理を理解し、指導方法とコミュニケーションの技法を習得し、学生の教育・指導に役立てる。
第2回	8月17日(水)	福岡県専修学校各種学校協会 ○研修対象:教員	「アドラー心理学を活用した中堅教員研修」 アドラー心理学を理解し、その活用により学生の心理、学習環境の整え方を習得し、退学防止とクラス経営のスキルを上げる。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育の質の保証・改善、社会に対する説明責任、学校評価を通じたガバナンス改善に向けた自主的な取組を促進していくことを目的とし、学校の教育活動や学校運営の状況に対して外部の学校関係者による評価を行い、その結果を教育活動・学校運営に活用する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	・教育理念(建学の精神) ・教育方針・育人人材像・職業教育の特色 ・教育理念、教育方針、育人人材などの教職員や学生、保護者等への周知 ・学科毎の教育目標、人材育成像の業界ニーズとのマッチング
(2) 学校運営	・運営方針に沿った事業計画 ・学校運営上の各種規程の整備状況 ・組織や意思決定システムの整備状況 ・情報のシステム化 ・人事、給与に関する制度
(3) 教育活動	・教育課程の編成方針、実施方針 ・教育課程・キャリア教育 ・授業評価 ・成績評価 ・修了認定基準 ・資格・免許の位置づけ ・人材育成目標の達成に向けた教員の要件 ・関連業界との連携に関連する教員の確保 ・教員の組織体制 ・教職員研修
(4) 学修成果	・就職率の向上体制 ・資格、免許の取得率の向上体制 ・卒業生の社会的評価の把握
(5) 学生支援	・就職等進路に関する支援組織体制 ・退学率等の低減・学生相談の支援体制 ・学生に対する経済的支援体制 ・健康管理に対する支援体制 ・課外活動の支援体制 ・保護者との連携体制 ・卒業生の支援体制
(6) 教育環境	・施設、設備の整備体制 ・企業実習、海外研修等の教育体制 ・防災組織体制・安全管理体制
(7) 学生の受入れ募集	・学生募集活動 ・入学選考基準の適正性 ・学納金
(8) 財務	・学校の財務基盤体制 ・予算、収支計画の適正性 ・会計監査 ・収支状況の公開体制
(9) 法令等の遵守	・法令に基づく学校運営 ・個人情報保護 ・自己評価及び学校関係者評価 ・情報公開
(10) 社会貢献・地域貢献	・社会貢献、地域貢献の実施 ・ボランティア活動の奨励と支援
(11) 国際交流	・留学生の受け入れ、実施状況 ・国際交流の取り組み

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

・学生の基礎学力の低下が課題である。学力に差があると国家試験の合格率も下がってくるのが懸念され、学校のイメージ低下にもつながりかねない。基礎学力向上への更なる取り組みを期待する。

→入学式前や土曜日、夏休み期間、放課後などの時間を有効的に活用し、基礎学力の向上を図る。国家試験対策については、模擬テストの回数を増やし、模擬テストで合格に満たない学生については、マンツーマンの指導を行う。また、学習意欲の低下を起さぬようにモチベーションの維持を図り、国家試験合格率100%を目指して指導を行う。

・定員数を増やすのは良いことである。自動車業界の人員確保のためにも、定員数を確保してもらいたい。

→18歳人口減少の対応策として、募集拡大を留学生にも広げていく。学生支援制度を充実させるなど、応募しやすい制度等の基盤整備を行う。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
奥 和昭	トヨタカーラ福岡株式会社 総務部 人事グループ グループ長	平成28年6月1日～ 平成30年3月31日	自動車 業界
岸原 武志	一般社団法人福岡県自動車整備振興会 指導部長	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	業界 団体
井上 武之	篠栗町教育委員長	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	校長 経験者
木下 泰秀	九州日野自動車株式会社 福岡支店 総務課 課長	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	卒業生
椎葉 小夜子	西鉄自動車整備専門学校 理事 校長	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	
矢ヶ部 友則	西鉄自動車整備専門学校 教頭	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	
緒方 隆	西鉄自動車整備専門学校 就職課 教務課 課長	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	
目原 光輝	西鉄自動車整備専門学校 教務課 係長	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	
阿納 弘通	西鉄自動車整備専門学校 総務・学生課 係長	平成27年6月1日～ 平成29年3月31日	

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

公表時期: 10月 URL: <http://www.nishitetsu-seibi.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者との連携及び協力の推進に資するため、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を、具体的に分かりやすく、且つ積極的に提供するものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	・建学の精神 ・教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等 ・学校の沿革
(2) 各学科等の教育	・収容定員 ・カリキュラム ・資格
(3) 教職員	・教員の担当科目
(4) キャリア教育・実践的職業教育	・キャリア教育 ・企業実習 ・就職支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	・学校行事
(6) 学生の生活支援	・学生支援(健康診断、学生相談等)
(7) 学生納付金・修学支援	・学生納付金 ・経済的支援措置(奨学金、授業料減免等)
(8) 学校の財務	・収支状況
(9) 学校評価	・自己点検・評価、学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

ホームページ: <http://www.nishitetsu-seibi.ac.jp/>・・・10月公表
広報誌等の刊行物: 学校案内・募集要項・・・毎年5月

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ガソリンエンジン構造	ガソリンエンジンの構造、作動について理解する	1通	45		○			○		○		
○			ジーゼルエンジン構造	ジーゼルエンジンの構造、作動、関連部品等の構造、作動を理解する	1 2 後 前	50		○			○		○		
○			シャシ車体構造	シャシ関連の部品の構造、作動等を理解する	1通	130		○			○		○		
○			電装品構造	電気の基本と電装品の構造、作動を学ぶ	1通	83		○			○		○		
○			特殊機構	エンジンの電子制御システムやハイブリッド自動車のシステム等を学ぶ	2前	40		○			○		○		
○			自動車の力学・数学	自動車整備などに関する計算問題を理解する	1 2 通 前	52		○			○		○		
○			電気・電子理論	半導体の基本と通信システムを学び理解する	1後	27		○			○		○		
○			材料	自動車に使われている材料の特徴、材質、用途などを理解する	2前	25		○			○		○		
○			燃料潤滑剤	自動車に用いられる燃料や油脂類の種類、性質、特徴などを学ぶ	1前	30		○			○		○		
○			図面	製図が使われる記号や用いられるルール等の基礎を学ぶ	2前	16		○			○		○		
○			ガソリンエンジン整備	ガソリンエンジンの構造、作動等を確認し、点検整備法を学ぶ	2前	32		○			○		○		

○		ジーゼルエンジン整備	ジーゼルエンジンの構造、作動等を確認し、点検、整備法を学ぶ	2前	30		○			○		○					
○		シャシ車体整備	シャシ関係の部品の構造、作動を確認し、点検、整備法を学ぶ	2前	40		○			○		○					
○		電装品整備	電装品の構造等を確認し、点検、整備法を学び実践につなげる	2前	40		○			○		○					
○		故障原因探求	各装置の故障現象とその診断について学び理解を深める	1 2 後 前	76		○			○		○					
○		整備作業機器	自動車整備に使われる整備機器とその使用方法について学ぶ	1前	12		○			○		○					
○		測定機器	自動車整備で使われる測定機器とその使用方法、数値の読み取り方を学ぶ	1前	12		○			○		○					
○		検査機器	自動車整備で使われる検査機器とその使用方法について学ぶ	1後	12		○			○		○					
○		自動車検査	自動車の定期点検に関する法令を学ぶ	1 2 後 前	30		○			○		○					
○		自動車整備に関する法規	道路運送車両法や法安基準など整備士として必要な法令関係を学ぶ	2前	30		○			○		○					
○		安全管理	整備作業をする上での安全対策について学ぶ	1通	5		○			○		○		○	○		
○		工場管理	工場内の各設備の取り扱い等を学ぶ	2後	7					○		○		○	○	○	
○		社 会	社会人としてのマナーなど知識全般を身につける	1 2 通 通	110		○			○		○		○	○		
○		体 育	校外での行事を通してリレーションを構築する	1 2 前 前	24					○		○		○	○		
○		手仕上げ工作	工作機器について知り、実際に使って作業をする	1前	12					○		○		○	○		

○		機械工作	溶接機器について知り、実際に使って作業をする	1 前	11					○	○		○		
○		基本計測	自動車整備に用いられる測定具を知り、実際に使いこなす	1 通	52					○	○		○		
○		ガソリン点検・分解・組立・調整・検査	ガソリンエンジンや部品の分解、点検組立てなどの実習を行う	1 2 通 通	270					○	○		○		
○		ジーゼル点検・分解・組立・調整・検査	ジーゼルエンジンや部品の分解、点検組立てなどの実習を行う	1 2 通 通	180					○	○		○		
○		シャシ点検・分解・組立・調整・検査	シャシ関係の部品の分解、点検組立てなどの実習を行う	1 2 通 通	307					○	○		○		
○		電装品点検・分解・組立・調整・検査	電装品の分解、点検、組立て、電気装置のシステム点検などの実習を行う	1 2 通 通	225					○	○		○		
○		故障原因探究	自動車に発生した故障を診断し修復作業を行う	1 2 通 通	230					○	○		○		
○		自動車検査作業	自動車が保安基準に適合するか検査ラインで完成検査を行う	1 2 後 通	65					○	○		○		
○		企業体験実習	企業での社会体験を通して実際の仕事を体感する	1 通	24					○	○	○		○	○
合計					34	科目	2334単位時間 (単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
国土交通省の規定のもと、学科（講義）600時間以上、実習1200時間以上の受講 学生の受講時間不足を予め見込んで、規定時間に多少の時間を上乗せし総時間を増やした。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	17週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

回数	実施日	主催及び研修対象	研修内容
第1回	7月28日(火) ～7月29日 (水)	日産自動車株 ○研修対象:教員	「日産技術セミナー」 日産のEV技術と修理技術の習得。
第2回	11月5日(木) ～11月6日 (金)	日本経営教育センター ○研修対象:教員	「アーク溶接特別教育」 アーク溶接作業に伴う災害・法令を学び、アーク溶接の作業方法、安全作業を習得する。
第3回	11月6日(金)	日本経営教育センター ○研修対象:教員	「粉じん特別教育」 粉じんを伴う作業における知識・法令を学び、作業時における身体の保護方法を習得する。
第4回	2月5日(金)	自動車整備振興会連合会 ○研修対象:教員	「自動車検査員法令研修会」 整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策を授業に役立てる。
第5回	2月19日(金)	自動車整備振興会連合会 ○研修対象:教員	「自動車検査員法令研修会」 整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策を授業に役立てる。
第6回	2月22日(月)	自動車整備振興会連合会 ○研修対象:教員	「自動車検査員法令研修会」 整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策を授業に役立てる。
第7回	2月24日(水)	自動車整備振興会連合会 ○研修対象:教員	「自動車検査員法令研修会」 整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策を授業に役立てる。

回数	実施日	主催及び研修対象	研修内容
第1回	8月4日(火) ～8月6日(木)	職業教育・キャリア財団 ○研修対象:教員	「新任教員研修」 専修学校の制度、職業教育の意味を理解し、学生・教員の実践心理を学び、教育指導に役立てる。
第2回	2月23日(火) ～2月24日 (水)	福岡県専修学校各種学校協会 ○研修対象:教員	「教職員研修 教授法」 学生との間の信頼関係を築けるコミュニケーションの構築と受講者を中心とした授業方法を習得し、教職員としてのスキルを上げる。
第3回	2月25日(木)	福岡県専修学校各種学校協会 ○研修対象:教職員	「教職員研修 プレゼンテーション研修」 話の構成の基本を学び、感じのよい印象を与えるプレゼンテーション力を習得し、教職員としてのスキルを上げる。

回数	実施日	主催及び研修対象	研修内容
第1回	8月4日(木)	(株)バンザイ ○研修対象:教員	「これからの車体整備の問題点」 安全のため進化する車造りを理解し、それに対応する車体整備技術の知識を習得する。
第2回	8月4日(木) ～8月5日 (金)	マツダ(株) ○研修対象:教員	「SKYACTIVE技術セミナー」 Gコントロールシステムの技術の理解と習得。
第3回	8月5日(金)	いすゞ自動車(株) ○研修対象:教員	「エアブレーキの仕組み」 エアブレーキの最新の技術、仕組みを理解し授業に役立てる。
第4回	8月19日(金)	福岡トヨペット(株) ○研修対象:教員	「新型プリウス技術研修会」 新型プリウスの最新技術、トヨタの予防安全技術の理解と習得。
第5回			「自動車検査員法令研修会」 整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策を授業に役立てる。
第6回			「自動車検査員法令研修会」 整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策を授業に役立てる。
第7回			「自動車検査員法令研修会」 整備事業の現状把握、整備作業に伴う安全対策を授業に役立てる。

回数	実施日	主催及び研修対象	研修内容
第1回	7月25日(月) ～7月28日 (木)	全国自動車大学校・整備専門学校協会 ○研修対象:教員	「第20回(平成28年度)JAMCA教職員夏季研修会」 学生の心理を理解し、指導方法とコミュニケーションの技法を習得し、学生の教育・指導に役立てる。
第2回	8月17日(水)	福岡県専修学校各種学校協会 ○研修対象:教員	「アドラー心理学を活用した中堅教員研修」 アドラー心理学を理解し、その活用により学生の心理、学習環境の整え方を習得し、退学防止とクラス経営のスキルを上げる。

回数	実施日	教職員研修規程に基づく教育研修区分及び主催、研修対象	研修内容
第1回	7月17日(木)	(2) マツダ(株) ○研修対象:教員	「マツダ技術セミナー」 マツダ車の各種技術と故障診断要領の修得。
第2回	8月4日(月)	(2) (株)バンザイ ○研修対象:教員	車両整備に起因する足回り不具合発生メカニズムと対策方法。
第3回	8月20日(水)	(2) マツダ(株) ○研修対象:教員	「マツダSKY ACTIV技術セミナー」スカイアクティブ技術の理解と技術の修得。
第4回	12月13日(土) ～14日(日)	(2) 一般社団法人日本自動車整備 振興会連合 ○研修対象:教員	「一級自動車整備士指導員講習」 自動車整備士養成施設一級自動車整備士の養成課程学科及び実習指導員講習及び資格の取得。
第5回	12月15日(月)	(2) 三菱自動車 ○研修対象:教員	「三菱自動車技術セミナー」 先端技術の理解と技術の修得。
第6回	1月20日(火) ～23日(金)	(2) 国土交通省 九州運輸局 ○研修対象:教員	自動車に関する法令の講習及び自動車検査員資格の取得
第7回	2月16日(月)	(2) 福岡自動車整備振興会 ○研修対象:教員	「自動車検査員研修」 自動車業界の現状、整備工場の現状理解、及び法令改正の講習